

福岡がんピアサポート ブラッシュアップ講座(第2回目)



福岡市市民福祉プラザ401研修室にて

今年10月に終了したピアサポート研修講座の学びを踏まえ、がん患者・家族の支援について更に拡充し、研修講座をうまく次のステージへとつなげるために、今回の講座は開催されました



本日の流れ

13～14:00 当日朝開催された運営委員会での決定事項報告(元気隊事務局より)

14～14:10 研修DVD(がんサロン編)視聴
14:10～16:00 各地域の患者会やサロンからの報告・事例検討会

いよいよ来年からサロン オープン!“ピアサポート” とは、こころを気遣うこと

元 気隊ピアサポート運営委員会を10月に無事終え、今回はそのブラッシュアップとなるスキルアップ講座の第2回。参加者は第1回目よりも増えて24名。第1回に比べ、サロン運営に関する課題点がより具体性を帯びてきました。

来年2014年3月からの運営開始が決定している元気隊サロンと個別ピアカウンセリングに関する課題点と事例検討を行いました。サロンで起こり得る事例と対応のヒントを掘り下げ、ボランティアとしての立ち位置の再確認、更に長く続けるための

モチベーションにも言及。患者にとって嬉しくない感情である苦しみや悲しみ、自分にとって残念な結果である事実を、サポーターが受け続けるための心得とはどうすることか？相手の感情に巻き込まれてストレスを抱えるような時はどうするか？サポーター同士で協力を求めるのか？長年ピアサポートを実践してきた元気隊代表の波多江さん、青葉の会代表の松尾さん、そしてあけぼの福岡代表の深野さんによる実際の過去の相談事例から、その課題を乗り越えていくための技術を学びました。それぞれの場面で雰囲気は千差万別。でもその中で共通していたのは、サロンを密室化させずオープンに実施するという。他の利

用者にどのような効果が現われるのかを共有し、それを実践結果として伝えることも必要だということ。患者さんは皆おなじですが性格によってまたそれぞれ違うのだ、モノの考え方や見方ひとつで人生は変わる可能性もあるのではないかと思います。ひとつの相談に対して実践法をその後検証していくことが自己満を防ぐ意味でも必要不可欠です。2月から九がんセンターでもサロン運営、5月からは運営講座も開講。次回のスキルアップ第3回は1月18日市民福祉プラザであじさいクリニック乳腺外科濱本隆浩院長をお招きします。

